

第1章 数の性質

1 約数	2
2 約数のみつけ方	3
3 公約数と最大公約数	4
かくにん問題 1	5
4 公倍数と最小公倍数	6
5 約分	7
6 通分	8
かくにん問題 2	9
かくにんテスト 1	10

第2章 通分のある分数のたし算

1 通分のある分数のたし算①	11
2 通分のある分数のたし算②	12
3 通分のある分数のたし算③	13
4 通分のある分数のたし算④	14
5 通分のある分数のたし算⑤	15
かくにんテスト 2	16

第3章 通分のある分数のひき算

1 通分のある分数のひき算①	17
2 通分のある分数のひき算②	18
3 通分のある分数のひき算③	19
4 通分のある分数のひき算④	20
5 通分のある分数のひき算⑤	21
かくにんテスト 3	22
練習問題①	23
練習問題②	24
文章題をやってみよう! ①	25

第4章 分数のかけ算

1 分数のかけ算①	26
2 分数のかけ算②	27
3 分数のかけ算③	28
4 分数のかけ算④	29
5 分数のかけ算⑤	30
かくにんテスト 4	31
考えよう	
整数のわり算を分数でといてみよう。	32

第5章 分数のわり算

1 逆数	33
2 分数のわり算①	34
3 分数のわり算②	35
考えよう	
分数÷分数の計算のしくみ	36
確かめよう	37
4 分数のわり算③	38
5 分数のわり算④	39
6 分数のわり算⑤	40
かくにんテスト 5	41
練習問題③	42
練習問題④	43
文章題をやってみよう! ②	44
.....	
やってみよう!	
小数と分数がまざった計算	45
練習問題⑤	46

そつぎょうテスト①	47
そつぎょうテスト②	48

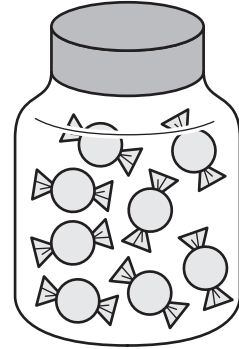
別冊 かんせいテスト

テストはんい	
かんせいテスト①	p. 2 ~ p. 10
かんせいテスト②	p. 11 ~ p. 16, p. 23 ~ p. 25
かんせいテスト③	p. 17 ~ p. 25
かんせいテスト④	p. 26 ~ p. 31, p. 42 ~ p. 44
かんせいテスト⑤	p. 34 ~ p. 44

1 約数

理解しよう! ※うすあみの部分はなぞり書きをして覚えましょう。

8個のあめを、あまりがでないように分けます。
 1個ずつ分けると、8人に分けられます。
 2個ずつ分けると、4人に分けられます。



これを表にすると、次のようになります。

1人分のあめの数	1	2	3	4	5	6	7	8
人数	8	4	×	2	×	×	×	1

この表から、あめをあまりがでないように分けられる人数は、
1人、2人、4人、8人 だということがわかります。

このように、ある数をわり切ることができる整数を **約数** といいます。

このことから、8の約数は **①**, 2, 4, **⑧** となります。
 1とその数は必ず約数になります。



例題

12個のあめを、あまりがでないように分けます。
 次の表を完成させ、12の約数をすべて求めましょう。

1人分のあめの数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人数					×		×	×	×	×	×	

12の約数 _____

基本問題 1

次の表を完成させ、16の約数をすべて求めましょう。

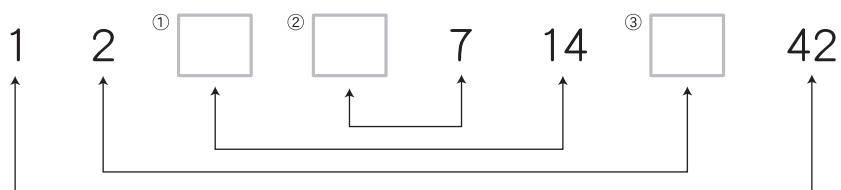
わる数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
約数																

16の約数 _____

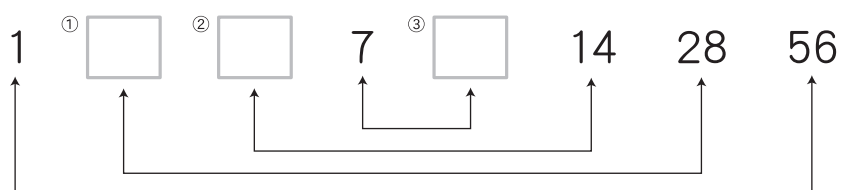
かくにん問題 1

1 次の にあてはまる数を書きましょう。

(1) 42 の約数



(2) 56 の約数



2 次の2つの数の公約数を求めましょう。

(1) 30 と 52

公約数 _____

(2) 24 と 40

公約数 _____

3 次の2つの数の最大公約数を求めましょう。

(1) 16 と 44

最大公約数 _____

(2) 27 と 45

最大公約数 _____

5 通分のある分数のたし算⑤ $\left(1\frac{7}{12} + 3\frac{9}{20}\right)$



理解しよう!

▶ $1\frac{7}{12} + 3\frac{9}{20}$ のような、帯分数のたし算を考えましょう。

■ 計算は次のようにします。

$$4 \left) \begin{array}{r} 1\frac{7}{12} + 3\frac{9}{20} \\ \hline \end{array} \quad \left[\begin{array}{l} \text{「たすきがけ」をしてそれぞれの} \\ \text{分数を通分する} \end{array} \right]$$

(3) (5)

$$= 1\frac{35}{60} + 3\frac{27}{60}$$

$$= 4\frac{\cancel{62}^{31}}{\cancel{60}_{30}} \overset{2\text{でわる}}{=} = 4\frac{31}{30} = 5\frac{1}{30}$$

[約分できる場合は約分する]

* 答えが仮分数になるときは、帯分数になおしましょう。

$\left(\frac{7}{12}, \frac{9}{20}\right)$ の
通分ができれば
かんたんじゃ!



例題

次の にあてはまる数を書きましょう。

(1) $3\frac{5}{8} + 2\frac{7}{12}$

$$= 3\frac{\text{①}}{24} + 2\frac{\text{②}}{24}$$

$$= 5\frac{\text{③}}{24} = \text{④}$$

(2) $1\frac{11}{15} + 2\frac{7}{20}$

$$= 1\frac{\text{①}}{60} + 2\frac{\text{②}}{60}$$

$$= 3\frac{\text{③}}{60}$$

$$= 3\frac{\text{④}}{12} = \text{⑤}$$

(3) $3\frac{3}{5} + 2\frac{11}{15}$

$$= 3\frac{\text{①}}{15} + 2\frac{11}{15}$$

$$= 5\frac{\text{②}}{15}$$

$$= 5\frac{\text{③}}{3} = \text{④}$$

基本問題

1

次のたし算をしましょう。

(1) $1\frac{7}{12} + 2\frac{11}{18}$

=

=

(2) $3\frac{5}{6} + 2\frac{1}{4}$

=

=

(3) $2\frac{5}{8} + 3\frac{7}{10}$

=

=

1 次のたし算をしましょう。

(5点×8)

(1) $\frac{1}{3} + \frac{1}{4}$

=

(2) $\frac{3}{4} + \frac{4}{5}$

=

(3) $\frac{1}{5} + \frac{7}{10}$

=

(4) $\frac{5}{6} + \frac{7}{12}$

=

(5) $\frac{8}{9} + \frac{7}{18}$

=

(6) $\frac{5}{12} + \frac{7}{10}$

=

(7) $\frac{6}{7} + \frac{2}{3}$

=

(8) $\frac{3}{4} + \frac{3}{10}$

=

2 次のたし算をしましょう。

(5点×12)

(1) $2\frac{2}{9} + 3\frac{5}{27}$

=

(2) $2\frac{2}{3} + 1\frac{3}{4}$

=

(3) $2\frac{3}{4} + 1\frac{9}{10}$

=

(4) $1\frac{3}{7} + 3\frac{3}{28}$

=

(5) $1\frac{7}{12} + \frac{1}{20}$

=

(6) $\frac{5}{8} + 1\frac{4}{5}$

=

(7) $3\frac{3}{5} + \frac{5}{6}$

=

(8) $2\frac{3}{8} + 3\frac{1}{12}$

=

(9) $3\frac{7}{10} + 2\frac{13}{30}$

=

(10) $5\frac{3}{8} + 1\frac{2}{3}$

=

(11) $3\frac{7}{12} + 2\frac{13}{18}$

=

(12) $3\frac{3}{5} + 2\frac{7}{15}$

=